

2024年9月12日の秋の大会で、社会・環境部会は「『対話の場』から福島
の復興と廃炉を考える」をテーマにした企画セッションを、下記の要領で開催しま
す。

「対話の場」から福島復興と廃炉を考える

—2023年度社会・環境部会賞記念講演

(9月12日(木) 13:00 ~ 14:30 J会場 (講義棟B棟1F B104))

(敬称略)

座長 寿楽浩太 (東京電機大)

○構成

- (1) 「科学と政治と社会の協働による『対話の場』から福島復興と廃炉を考
える」松岡俊二 (早大)
- (2) 「福島特別プロジェクトの活動」布目礼子 (原環センター)
- (3) 総合討論

○内容

早大レジリエンス研究所所長および同大ふくしま広野未来創造リサーチセン
ター長を務める松岡氏は、これらの組織を通じて福島第一原子力発電所事故や
福島復興について多くの研究と取り組みを図ってきた。特に福島復興と廃炉
に関する「対話の場」＝「学びの場」の形成に関する研究と実践は特筆すべき活
動である。本企画セッションではこれらの活動を通じて、同氏が考えてきた科学
と政治と社会の協働の課題について講演していただく。キーワードは
「Connecting the Dots」、「イノベーション」、「対話の場」、「学びの場」、「社会
的学習」。

あわせて原子力学会が取り組んでいる福島特別プロジェクトの活動について
も紹介する。

以上